

○ 別表1 (学部の学科、研究科の専攻等の定員未充足の状況について)

学部の学科、研究科の専攻等名	収容定員	収容数	定員充足率
	(a)	(b)	(b)/(a)×100
	(人)	(人)	(%)
<工芸科学部>			
(昼間コース)			
応用生物学課程	214	239	111.68
生体分子工学課程	190	227	119.47
高分子機能工学課程	190	224	117.89
物質工学課程	296	346	116.89
電子システム工学課程	232	280	120.69
情報工学課程	232	282	121.55
機械システム工学課程	336	391	116.37
デザイン経営工学課程	136	160	117.65
造形工学課程	464	503	108.41
学部共通(3年次編入学)	40	-	-
(夜間主コース)			
先端科学技術課程	400	524	131.00
学士課程 計	2,730	3,176	116.34
<工芸科学研究科>			
応用生物学専攻〔修士課程〕	70	87	124.29
生体分子工学専攻〔修士課程〕	70	60	85.71
高分子機能工学専攻〔修士課程〕	70	79	112.86
物質工学専攻〔修士課程〕	90	127	141.11
電子システム工学専攻〔修士課程〕	60	94	156.67
情報工学専攻〔修士課程〕	60	69	115.00
機械システム工学専攻〔修士課程〕	80	123	153.75
デザイン経営工学専攻〔修士課程〕	28	35	125.00
造形工学専攻〔修士課程〕	50	64	128.00
デザイン科学専攻〔修士課程〕	28	39	139.29
建築設計学専攻〔修士課程〕	40	62	155.00
先端ファイブプロ科学専攻〔修士課程〕	44	75	170.45
修士課程 計	690	914	132.46
生命物質科学専攻〔博士課程〕	54	58	107.41
設計工学専攻〔博士課程〕	30	33	110.00
造形科学専攻〔博士課程〕	24	34	141.67
先端ファイブプロ科学専攻〔博士課程〕	30	48	160.00
博士課程 計	138	173	125.36

○ 別表2(学部、研究科等の定員超過の状況について)

(平成16年度)

学部・研究科等名	収容定員 (A)	収容数 (B)	左記の収容数のうち							超過率算定 の対象となる 在学者数 (J) 【(B)-(D,E,F,G,Iの合計)】	定員超過率 (K) (J) / (A) × 100
			外国人 留学生数 (C)	左記の外国人留学生のうち			休学 者数 (G)	留年 者数 (H)	左記の留年者数の うち、修業年限を 超える在籍期間が 2年以内の者の数 (I)		
				国費 留学生数 (D)	外国政府 派遣留学 生数(E)	大学間交流 協定等に基 づく留学生等 数(F)					
(学部等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
(研究科等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
工芸科学研究科	659	1,043	81	17	0	3	23	51	50	950	144.2%

○計画の実施状況等

工芸科学研究科において定員超過率が130%を超える主な理由は、入学志願者の進学意欲に応えるために教育研究に重大な支障を来さない範囲で受け入れたことによる。

○ 別表2(学部、研究科等の定員超過の状況について)

(平成17年度)

学部・研究科等名	収容定員 (A)	収容数 (B)	左記の収容数のうち							超過率算定 の対象となる 在学者数 (J) 【(B)-(D,E,F,G,Iの合計)】	定員超過率 (K) (J) / (A) × 100
			外国人 留学生数 (C)	左記の外国人留学生のうち			休学 者数 (G)	留年 者数 (H)	左記の留年者数の うち、修業年限を 超える在籍期間が 2年以内の者の数 (I)		
				国費 留学生数 (D)	外国政府 派遣留学 生数(E)	大学間交流 協定等に基 づく留学生等 数(F)					
(学部等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
(研究科等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
工芸科学研究科	664	1,076	84	21	0	6	33	54	54	962	144.9%

○計画の実施状況等

工芸科学研究科において定員超過率が130%を超える主な理由は、入学志願者の進学意欲に応えるために教育研究に重大な支障を来さない範囲で受け入れたことによる。

○ 別表2(学部、研究科等の定員超過の状況について)

(平成18年度)

学部・研究科等名	収容定員 (A)	収容数 (B)	左記の収容数のうち							超過率算定 の対象となる 在学者数 (J) 【(B)-(D,E,F,G,Iの合計)】	定員超過率 (K) (J) / (A) × 100
			外国人 留学生数 (C)	左記の外国人留学生のうち			休学 者数 (G)	留年 者数 (H)	左記の留年者数の うち、修業年限を 超える在籍期間が 2年以内の者の数 (I)		
				国費 留学生数 (D)	外国政府 派遣留學 生数(E)	大学間交流 協定等に基 づく留学生等 数(F)					
(学部等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
工芸科学部	625	714	7	3			2	0	0	709	113.4%
(研究科等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
工芸科学研究科	746	1,063	74	21	0	7	33	45	43	959	128.6%

○ 別表2(学部、研究科等の定員超過の状況について)

(平成19年度)

学部・研究科等名	収容定員 (A)	収容数 (B)	左記の収容数のうち							超過率算定 の対象となる 在学者数 (J) 【(B)-(D,E,F,G,Iの合計)】	定員超過率 (K) (J) / (A) × 100
			外国人 留学生数 (C)	左記の外国人留学生のうち			休学 者数 (G)	留年 者数 (H)	左記の留年者数の うち、修業年限を 超える在籍期間が 2年以内の者の数 (I)		
				国費 留学生数 (D)	外国政府 派遣留學 生数(E)	大学間交流 協定等に基 づく留学生等 数(F)					
(学部等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
工芸科学部	1,250	1,384	15	5	1	0	5	0	0	1,373	109.8%
(研究科等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
工芸科学研究科	828	1,087	75	21	0	6	28	46	43	989	119.4%

